

令和4年度

東京都立武蔵丘高等学校 学校経営報告

※各数値の（ ）は目標値

校長 内藤 千春

1 学習指導

【今年度の成果と課題】

① 大学入学共通テストの各教科・科目の校内平均点

→ 全国平均を上回った教科・科目：

日本史 B 61.8 (60.0)、世界史 B 59.3 (59.0)、政治経済 59.0 (51.0)

② 教員相互の授業観察（1人あたり年2回以上）実施率

100% (100%)

③ 夏期講習及び冬期講習の開講講座合計数と参加生徒数

合計 41 講座 (80 講座) 参加生徒数のべ 1,702 名 (6,000 名)

④ 1・2年生の自学自習時間（1日あたり） 1年 104.6分 (60分)、2年 90.1分 (70分)

大学入学共通テストは、全国平均を上回る教科・科目は3科目となった。同テスト受験者数は200名と、昨年に引き続き多くの生徒が受験した。講習等は今年度も新型コロナウイルス感染症の制約を大きく受けた。今年度入学生から新学習指導要領へ移行しており、引き続き教科会、各学年と進路指導部、教務部が連携を深め、授業改善に取り組んでいく必要がある。

2 進路指導

【今年度の成果と課題】

① いわゆる準難関校以上（国公立大学+早慶上理+GMARCH+成成明学獨國武）の現役合格者数
99名 (70名)

② 大学入学共通テスト出願者数 246名 (239名)

③ 3年生の進路決定率 95% (87%)

国公立大学、早慶上理、GMARCH、成成明学獨國武までのいわゆる準難関大学の現役合格者数、共通テスト出願者数、進路決定率ともに、目標値を大きく上回った。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年も進路行事を中止せざるを得なかったが、形式を工夫したり、内容を精選したりして、この1年間を乗り切ることができた。最後まで諦めず学習に取り組んだ生徒と、丁寧で粘り強い教員の支援は賞賛に値する。

3 生活指導

【今年度の成果と課題】

① 全学年のクラスにおいて1クラス1日あたりの遅刻者数 0.50名 (0.40名)

② (学校評価)生徒対象「服装や身だしなみについて十分な指導がされている」に対する肯定的な意見

82% (75%)

③ (学校評価)生徒対象「本校ではいじめ防止の対策がとられている」に対する肯定的な意見

72% (85%)

④ (学校評価)生徒対象「本校の SNS ルールを守っている」に対する肯定的な意見

90% (90%)

時間を守る指導については、生活指導部と各学年でより密接に連携し徹底していくが、1クラス1日あたりの遅刻者数については、より厳密に指導を徹底している実態もあり、過去の統計を精査し、目標値を再設定する必要がある。

いじめへの対応や SNS ルールについては、引き続きアンテナを高く張り、粘り強く指導していきたい。さらに、登校時の自転車事故防止についても、自転車のマナーやルールも含めた安全指導を継続して、丁寧に指導していく。

4 特別活動・部活動

【今年度の成果と課題】

① (学校評価)生徒対象「体育祭、武高祭では充実感や達成感を感じた」に対する肯定的な意見

87% (90%)

② (学校評価)生徒対象「本校は部活動と勉強の両立を指導している」に対する肯定的な意見

69% (82%)

6月の「体育祭」は昨年度と同様、代替行事として「学年別スポーツデイ」を実施した。9月の「武高祭」は、様々な制約はあったが、全学年一斉参加の形で実施できた。英語暗唱大会は、11月の授業公開に実施することで、本校保護者及び中学生とその保護者から好評であった。2月には学年別で合唱祭が無事実施できた。コロナ禍において、各学校行事を生徒が経験していくことの重要性を実感した。次年度以降、生徒が企画運営する本校の伝統行事をどう充実させていくかが課題である。

5 健康づくり

【今年度の成果と課題】

③ (学校評価)生徒対象「生徒校内の環境美化活動に取り組んでいる」

73% (70%)

④ (学校評価)生徒対象「本校は部活動と勉強の両立を指導している」に対する肯定的な意見

73% (82%)

⑤ 教育相談、発達障害やアレルギー対応等に関わる教職員研修会の実施回数 1回 (4回)

⑥ 生徒対象講演会等の実施回数 2回 (3回)

⑦ (学校評価)生徒対象「SC について生徒に対し十分にアナウンスされている」に対する肯定的な意見

60% (70%)

今年度より、新分掌「総務・保健部」が保健及び美化活動を担当することとなった。

感染症対策の一環で、校内のごみ箱を撤去し、ごみの持ち帰りを徹底したことで校内美化への意識が進んだ。

また、コロナ禍の影響で心に大きなストレスを抱える生徒が顕在化している。引き続き、高校生の意識調査等を定期的実施し、その結果を教職員全体で共有し指導に生かすとともに、スクールカウンセラー、巡回心理士等と連携して、学校全体の教育相談機能のより一層の充実を図っていく必要がある。

6 広報募集活動

【今年度の成果と課題】

- ① 学校見学会・学校説明会等への中学生・保護者の参加者数 **2,396名（1,000名）**
オンライン動画等の視聴回数 **2,700回（9,000回）**
- ② 体験授業及び部活動体験入部の参加者数 **体験授業は中止、体験入部は各部活動の個別対応**
- ③ 授業公開への参加者 **728名（230名）**
- ④ 入学選抜の応募倍率

推薦に基づく選抜 2.83倍（2.40倍）、学力検査に基づく選抜 1.96倍（1.70倍）

今年度より広報募集活動についても新分掌「総務・保健部」が担当することとなった。

新型コロナウイルス感染症の影響があったが、昨年度よりもさらに対面での説明会等をより多く実施することができた。また、各説明会とも本校生徒が説明する機会を多く設定する等、内容の充実を図り、参加者から好評を得ることができた。

7 学校経営・組織体制

【今年度の成果と課題】

- ① （学校評価）生徒対象「本校に入学して良かったと思う」に対する肯定的な意見 **88%（85%）**
- ② 体罰事故 **0件（0件）**

今年度入学生より新学習指導要領が本格実施となり、引き続き観点別評価の導入に伴う評価規準の整備や、各教科における探究活動及びアクティブラーニングの充実等に取り組む必要がある。また、CYOD（※）方式による生徒一人1台情報端末を様々な教育活動に活用していくことが求められる。

また、校務支援システム等をフル活用し、業務の効率化をより一層推進するとともに、学校全般の業務内容の見直し等も行っていく。

体罰事故等の、「サービス事故ゼロ」は継続し、生徒・保護者・都民の信頼に応えていく。

※：Choose Your Own Device 学校等が必要な機能を踏まえて情報端末の機種を選択し、生徒所有の端末として整備